



平成27年8月28日
内閣府（防災担当）

平成27年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 馬場、森本、佐藤、後藤

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

平成27年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

元政策研究大学院大学 特任教授 池谷 浩	(東京都)
東京理科大学大学院 教授 菅原 進一	(埼玉県)
板橋区教育委員会安全教育専門員 矢崎 良明	(埼玉県)
京都大学 名誉教授 石原 和弘	(京都府)
前海陽町長 五軒家 憲次	(徳島県)
無職 大迫 隆典	(福岡県)

○ 団体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成25年台風第18号における消防団の災害出動) 亀岡市消防団	(京都府)
綾部市消防団	(京都府)
(平成25年台風第18号における水防団の災害出動) 澱川右岸水防事務組合下鳥羽水防団	(京都府)
桂川・小畑川水防事務組合久我水防団	(京都府)
澱川右岸水防事務組合横大路水防団	(京都府)
(平成26年4月林野火災における消防団の災害出動) 盛岡市消防団	(岩手県)
(平成26年5月林野火災における消防団の災害出動) 岩手町消防団	(岩手県)
(平成26年台風第8号における消防団の災害出動) 南陽市消防団	(山形県)
南木曾町消防団	(長野県)
(平成26年台風第11号における消防団の災害出動) 伊賀市消防団	(三重県)
(平成26年8月豪雨災害における消防団の災害出動) 岩国市消防団	(山口県)
和木町消防団	(山口県)
海陽町消防団	(徳島県)

(平成26年広島市の土砂災害における災害警備活動)	
広島県警察本部	(広島県)
(平成26年広島市の土砂災害における消防団の災害出動)	
広島市中消防団	(広島県)
広島市東消防団	(広島県)
広島市南消防団	(広島県)
広島市西消防団	(広島県)
広島市安佐南消防団	(広島県)
広島市安佐北消防団	(広島県)
広島市安芸消防団	(広島県)
広島市佐伯消防団	(広島県)
(平成26年広島市の土砂災害における災害派遣)	
第13旅団災害派遣部隊及び同配属・協同・支援部隊	(広島県)
(平成26年御嶽山の噴火災害における災害警備活動)	
長野県警察本部	(長野県)
岐阜県警察本部	(岐阜県)
(平成26年御嶽山の噴火災害における消防団の災害出動)	
木曾町消防団	(長野県)
王滝村消防団	(長野県)
(平成26年御嶽山の噴火災害における災害派遣)	
第12旅団災害派遣部隊及び同協同・支援部隊	(群馬県)
(平成26年長野県神城断層地震災害における消防団等の災害出動)	
白馬村消防団	(長野県)
小谷村消防団	(長野県)
小川村消防団	(長野県)
堀之内区自主防災組織	(長野県)
三日市場区自主防災組織	(長野県)
[防災体制の整備]	
安中地区まちづくり推進協議会	(長崎県)
[防災思想の普及]	
岩田校区防災会連絡協議会	(愛知県)
あいち防災リーダー会	(愛知県)
香久山区自主防災会	(愛知県)
折戸区自主防災会	(愛知県)

以上 6個人、38団体

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	い け や ひ ろ し 池 谷 浩
住 所	東京都千代田区
職 業	元 政策研究大学院大学 特任教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、砂防研究の第一人者として、日本のみならず世界各地の土砂災害や火山災害に係る調査・研究・分析等において優れた業績を残しており、防災行政への有用な提言を行うなど、防災に関して幅広い分野で貢献された。</p> <p>研究活動においては、砂防、地すべり対策、がけ崩れ対策等に関する調査・研究及び技術開発を行うなど、その成果は学術的にも極めてレベルの高いものであり、(一財)砂防・地すべり技術センター理事長などの要職を歴任するなど、同氏の功績は極めて大きいものがある。</p> <p>防災行政においては、平成26年8月の広島土砂災害を踏まえて設置された「総合的な土砂災害対策検討ワーキンググループ」の主査、同年9月の御嶽山噴火を踏まえて設置された「火山防災対策推進ワーキンググループ」(中央防災会議 防災対策実行会議)の委員等を歴任し、幅広い知見から数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	すがはら しんいち 菅 原 進 一
住 所	埼玉県鴻巣市
職 業	東京理科大学大学院 教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、社会・安全システム科学、社会システム工学・安全システム研究の第一人者として、優れた業績を残しており、防災行政への有用な提言を行うなど、防災に関して幅広い分野で貢献された。</p> <p>特に平成13年から約6年間の長きにわたり、消防審議会会長として、消防に関する重要事項について審議し、消防庁長官に対して5つの答申を行うとともに、現在でも「住宅用火災警報器設置対策会議」会長として、住宅用火災警報器の設置の徹底に取り組んでいる。</p> <p>さらに、内閣府中央防災会議専門員、東京消防庁火災予防審議会会長を務めるなど、幅広い知見から数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	やざき よしあき 矢 崎 良 明
住 所	埼玉県新座市
職 業	板橋区教育委員会安全教育専門員
功 績 の 概 要	<p>同氏は、長年にわたり防災教育をはじめとした安全教育の推進に取り組むとともに、学校施設の非構造部材の耐震対策の検討に参画し、有用な提言を行うなど、全国の学校における防災対策の推進に多大な貢献をされた。</p> <p>特に、平成22年から3年間、全国学校安全教育研究会会長を歴任するとともに、文部科学省の「中央教育審議会スポーツ・青少年分科会学校安全部会」委員、「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理に関する有識者会議」専門委員等を歴任し、「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」、防災教育の参考資料である「『生きる力』を育む防災教育の展開」の作成に携わるなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	いしはら かずひろ 石 原 和 弘
住 所	京都府宇治市
職 業	京都大学 名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、火山物理学を専門とし、火山研究の第一人者として火山の監視観測、火山災害の軽減に関する優れた業績を残しており、最先端の研究・教育に貢献するほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、防災に関して幅広い分野で貢献された。</p> <p>研究活動においては、火山性地盤変動、火山噴火機構、マグマ供給系、火山噴火予知等に関する調査・研究及び技術開発を行うなど、その成果は学術的にも極めてレベルの高いものであり、特に火山災害対策に関する知見及び経験は余人を持って代え難い。</p> <p>また、日本火山学会会長などの要職を歴任するなど、同氏の功績は極めて大きなものがある。</p> <p>さらに、防災行政においては、平成24年に内閣府に設置された「広域的な火山防災対策に係る検討会」の委員として、幅広い知見から数多くの有用な提言を行ったほか、気象庁の諮問機関である「火山噴火予知連絡会」の副会長として、平成26年9月の御嶽山噴火、平成27年5月の口永良部島噴火等において、迅速かつ適切な防災対応に当たるなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	ご けん や けん じ 五 軒 家 憲 次
住 所	徳 島 県 海 部 郡 海 陽 町
職 業	前 海 陽 町 長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、昭和南海地震の体験者として、当時被害を受けた住民宅を一軒ずつ回って体験談を集め、「南海地震津波の記録 宿命の浅川港」の編集・発行に尽力した。また、幼少年期向けの「南海地震津波の絵本 シロのないた海」を作成するとともに、津波に対する心得を記した「津波十訓」の碑の建設に尽力するなど、地域の津波防災力の向上に努めた。</p> <p>また、同氏が誘致に尽力した「全国沿岸市町村 津波防災サミット」において、「シロのないた海」の劇を通じて全国に向け情報発信を行うとともに、土木学会全国大会の特別討論会にパネリストとして参加し、津波対策を中心とした防災・減災に取り組んだ。</p> <p>さらに、町長として「浅川湾口防波堤の建設」、「海岸耐震対策緊急事業の実施」、「津波避難タワーの整備」に精力的に取り組んだほか、「徳島県南部津波減災対策推進会議」の顧問を務めるとともに、「海陽町千年のいのちを守るまちづくり基金」を創設するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	おおさこ たかのり 大 迫 隆 典
住 所	福岡県北九州市小倉南区
職 業	無職
功 績 の 概 要	<p>同氏は、北九州市小倉南区市民防災会連合会・志井校区会長として、校区の自主防災活動に積極的に取り組んできた。</p> <p>地域の防災力の強化及び行政との連携を目的に、区役所・消防・警察等関係機関との防災訓練等を実施するとともに、年間を通じて、「住民参加型図上訓練」や「防災まち歩き」により、地域の危険箇所を調査し、自分たちでできることは自分たちで修繕を行う活動を実施している。また、防火・防災教室を実施するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	亀岡市消防団
所 在 地	京都府亀岡市
代 表 者	あさだ はるひこ 団 長 浅 田 晴 彦
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月台風第18号の接近に伴う集中豪雨に際し、2日間延べ990名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積みや小型ポンプでの排水等の水防活動、住民の避難誘導、ボートを活用した人工透析患者の搬送支援等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	綾部市消防団
所 在 地	京都府綾部市
代 表 者	まじま つねはる 団 長 馬 嶋 恒 治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月台風第18号の接近に伴う集中豪雨に際し、2日間延べ612名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動、住民の避難誘導、危険個所の警戒巡視等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	澱川右岸水防事務組合下鳥羽水防団
所 在 地	京都府京都市伏見区
代 表 者	やまもと てつや 団 長 山 本 哲 也
功 績 の 概 要	<p>同水防団は、平成25年9月台風第18号の接近に伴う集中豪雨に際し、2日間延べ36名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	桂川・小畑川水防事務組合久我水防団
所 在 地	京都府京都市伏見区
代 表 者	もりもと たけのり 団 長 森 本 武 則
功 績 の 概 要	同水防団は、平成25年9月台風第18号の接近に伴う集中豪雨に際し、2日間延べ17名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	澱川右岸水防事務組合横大路水防団
所 在 地	京都府京都市伏見区
代 表 者	いせき よしつぐ 団 長 伊勢木 由 次
功 績 の 概 要	同水防団は、平成25年9月台風第18号の接近に伴う集中豪雨に際し、2日間延べ27名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	盛岡市消防団
所 在 地	岩手県盛岡市
代 表 者	ふじさわ りょうえつ 団 長 藤 澤 良 悦
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年4月に発生した林野火災に際し、3日間延べ1,159名が出動し、延焼が拡大する極めて困難な状況の下、昼夜にわたり懸命の消火活動を行い、一人として人的被害、また家屋被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	岩手町消防団
所 在 地	岩手県岩手郡岩手町
代 表 者	まつむら しょういち 団 長 松 村 昭 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年5月に発生した2件の林野火災に際し、5日間延べ1,009名が出動し、消防水利が乏しい極めて困難な状況の下、水利から数キロ離れた現場まで連続送水を行うとともに、懸命の消火活動により、一人として人的被害、また家屋被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	南陽市消防団
所 在 地	山形県南陽市
代 表 者	たかはし よしあき 団 長 高 橋 義 昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年7月台風第8号の接近に伴う集中豪雨に際し、17日間延べ1,493名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行い、土嚢積みや排水処理、住民の避難誘導、消防水利の確保等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	南木曾町消防団
所 在 地	長野県木曾郡南木曾町
代 表 者	むぎやま まさふみ 団 長 武 儀 山 真 史
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年7月台風第8号の接近に伴う大雨のため発生した梨子沢での土石流災害に際し、10日間延べ758名が出動し、被災者の救助活動、被害の甚大であった地域の住宅をくまなく回り、住民の安否確認と避難誘導を実施し、自力での避難が困難な住民については、消防車両による避難所への移送を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	伊賀市消防団
所 在 地	三重県伊賀市
代 表 者	ふくはら としあき 団 長 福 原 敏 昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月台風第11号の接近に伴う豪雨災害に際し、2日間延べ1,902名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	岩国市消防団
所 在 地	山口県岩国市
代 表 者	や お や ひ と し 団 長 八 百 屋 仁
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月豪雨災害に際し、12日間延べ596名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導や救助、行方不明者の搜索、道路上障害物撤去等を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	和木町消防団
所 在 地	山口県玖珂郡和木町
代 表 者	あもう ただひと 団 長 天 羽 正 人
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月豪雨災害に際し、7日間延べ142名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、水防活動を行うとともに、孤立住民の救出、避難誘導、道路上の土砂撤去等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	海陽町消防団
所 在 地	徳島県海部郡海陽町
代 表 者	の い ち か ず お 団 長 乃 一 一 夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月豪雨災害に際し、6日間延べ1,314名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	広島県警察本部
所 在 地	広島県広島市中区
代 表 者	みやその つかし 警 察 官 園 司 史 本 部 長
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、災害警備対策本部を設置して迅速・的確な警備態勢を早期に確立するとともに、いち早く警察ヘリによる被害映像の官邸等への送信、機動隊等を速やかに派遣して被災者の救出救助に当たったほか、行方不明者の捜索、交通整理、避難誘導等の活動を行った。</p> <p>また、その後も降雨等により二次災害の危険性が極めて高い状況下において、広域緊急援助隊や災害救助犬等の支援を得て、救助活動、捜索活動等を実施（発災当初から1ヶ月間延べ約23,000人の警察職員が現場活動）した。</p> <p>さらに、交通規制、被災地内の治安対策を実施するなど、県民の安心・安全の確保と積極的な情報発信を行い、県民の安心感の醸成に努め、被災者支援にも多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市中消防団
所 在 地	広島県広島市中区
代 表 者	くろかわ あきお 団 長 黒 川 明 夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ222名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市東消防団
所 在 地	広島県広島市東区
代 表 者	い で が わ あ き ら 団 長 井 手 川 彰
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ291名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市南消防団
所 在 地	広島県広島市南区
代 表 者	ま っ も と け ん じ 団 長 松 本 賢 二
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ314名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市西消防団
所 在 地	広島県広島市西区
代 表 者	<small>さだもり まさあき</small> 団 長 定 森 正 昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ254名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市安佐南消防団
所 在 地	広島県広島市安佐南区
代 表 者	ひ ら た の お 団 長 平 田 信 夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ2,094名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市安佐北消防団
所 在 地	広島県広島市安佐北区
代 表 者	み な た ひ さ と 団 長 皆 田 久 人
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、42日間延べ952名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市安芸消防団
所 在 地	広島県安芸郡海田町
代 表 者	どいなが はじめ 団 長 土 井 長 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、41日間延べ255名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	広島市佐伯消防団
所 在 地	広島県広島市佐伯区
代 表 者	しんたに えきそう 団 長 新 谷 益 三
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、41日間延べ335名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり人命救助活動を行うとともに、女性消防団員にあっては避難所での支援活動を行うなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	第13旅団災害派遣部隊及び同配属・協同・支援部隊
所 在 地	広島県安芸郡海田町
代 表 者	に し ひ ろ の り 第13旅団長 陸 将 補 西 浩 徳
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、平成26年8月20日から9月11日までの間、突発的かつ局地的な豪雨が頻発し、二次災害の脅威に直面するとともに、重機材等を用いた活動が制限される厳しい環境下において、陸海自衛隊の一元的運用等により機動的に展開し、延べ23,451名を派遣し、人命救助、行方不明者の捜索、道路の啓開、入浴支援、物資輸送等各種支援活動を実施し、被災地住民の安全確保及び生活基盤の確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	長野県警察本部
所 在 地	長野県長野市
代 表 者	お さ き と お る 警 察 本 部 長 尾 崎 徹
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成26年9月御嶽山の噴火災害に際し、災害警備対策本部を設置して迅速・的確な警備態勢を早期に確立するとともに、噴火直後に下山する登山者の迅速な避難誘導、航空機や機動隊を速やかに派遣して被災者の救出救助に当たったほか、行方不明者の捜索等の活動を行った。</p> <p>また、その後も再噴火の危険を伴い、硫化水素等の火山ガスが発生し、捜索現場は全身が埋まるほどぬかるむ極めて過酷な三千メートル級の高地において、救出救助・捜索活動を継続（発災当初から3週間で延べ約6,800人の警察職員が現場活動）した。</p> <p>さらに、適切な行方不明者の把握、捜索箇所の実地分析を行うとともに、消防、自衛隊等の関係機関と緊密に連携し、適切な情報分析や情報提供、正確な広報活動により、国民の安全と安心感の醸成に貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	岐阜県警察本部
所 在 地	岐阜県岐阜市
代 表 者	お か ま さ み 警 察 岡 真 臣 本 部 長
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成26年9月御嶽山の噴火災害に際し、災害警備連絡室を設置して迅速・的確な警備態勢を早期に確立するとともに、噴火直後に下山する登山者の迅速な避難誘導、航空機や機動隊を速やかに派遣して被災者の救出救助に当たったほか、行方不明者の捜索等の活動を行った。</p> <p>また、その後も再噴火の危険を伴い、硫化水素等の火山ガスが発生し、捜索現場は全身が埋まるほどぬかるむ極めて過酷な三千メートル級の高地において、救出救助・捜索活動を継続（発災当初から3週間で延べ約1,300人の警察職員が現場活動）した。</p> <p>さらに、長野県警察に対し、救出救助部隊の特別派遣を行うなど、他県の支援も実施するとともに、消防、自衛隊等の関係機関と効果的に連携し、適切な情報分析や情報提供、正確な広報活動により、国民の安全と安心感の醸成に貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	木曾町消防団
所 在 地	長野県木曾郡木曾町
代 表 者	ちごのみつくに 団 長 児 野 光 九 仁
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年9月御嶽山の噴火災害、その後の台風第18号、19号の接近に際し、18日間延べ518名が出動し、入山禁止箇所の交通整理及び警備、ヘリポートへの散水等、自衛隊、消防、警察による捜索活動への後方支援を行った。</p> <p>また、台風第18号、19号の接近に備え、火山灰の堆積による土砂災害発生の危険性が高まる中、危険箇所への土嚢の事前配備、巡回警備を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	王滝村消防団
所 在 地	長野県木曾郡王滝村
代 表 者	ふじもと なおひろ 団 長 藤 本 直 大
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年9月御嶽山の噴火災害、その後の台風第18号、19号の接近に際し、20日間延べ91名が出動し、登山客の誘導、入山規制ゲートの警備等、自衛隊、消防、警察による捜索活動への後方支援を行った。</p> <p>また、台風第18号、19号の接近に伴い、火山灰が降雨により濁沢川に流れ込み、土石流の発生が懸念されるとともに、滝越地区が孤立する恐れがあったため、同地区に避難勧告が発令された直後から、同地区において巡回警備を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	第12旅団災害派遣部隊及び同協同・支援部隊
所 在 地	群馬県北群馬郡榛東村
代 表 者	<p style="text-align: center;">きよた やすし</p> <p>第12旅団長 陸 将 補 清 田 安 志</p>
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成26年9月御嶽山の噴火災害に際し、平成26年9月27日から10月16日までの間、断続的な降灰・降石や堆積した火山灰により足場も悪く、火山性ガスが発生など二次災害の脅威に直面するとともに、三千メートル級の高地での活動という厳しい環境下において、陸海自衛隊の一元的運用等により機動的に展開し、延べ23,011名の派遣により、人命救助、捜索隊員の輸送、航空偵察等の活動を遂行し、行方不明者の捜索等に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	白馬村消防団
所 在 地	長野県北安曇郡白馬村
代 表 者	よこやま よしひこ 団 長 横 山 義 彦
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年11月最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、10日間延べ562名が出動し、冬季で暖房を使用する夜間であることから、住宅火災の危険性が懸念されるという極めて困難な状況下において、地震による家屋の火災を発生させることなく、住民の安否確認、避難場所への誘導、被災状況の確認、被災箇所の警戒等を行い、一人として死者・行方不明者を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	小谷村消防団
所 在 地	長野県北安曇郡小谷村
代 表 者	おおた なおゆき 団 長 太 田 直 幸
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年11月最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、22日間延べ764名が出動し、冬季で暖房を使用する夜間であることから、住宅火災の危険性が懸念されるという極めて困難な状況下において、地震による家屋の火災を発生させることなく、住民の安否確認、避難場所への誘導、被災状況の確認、被災箇所の警戒等を行い、一人として死者・行方不明者を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	小川村消防団
所 在 地	長野県上水内郡小川村
代 表 者	す が ま さ た か 団 長 須 賀 真 孝
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成26年11月最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、3日間延べ195名が出動し、冬季で暖房を使用する夜間であることから、住宅火災の危険性が懸念されるという極めて困難な状況下において、地震による家屋の火災を発生させることなく、住民の安否確認、被災箇所の応急処置、避難場所への誘導、被災状況の確認等を行い、一人として死者・行方不明者を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	堀之内区自主防災組織
所 在 地	長野県北安曇郡白馬村
代 表 者	かまくら ひろし 元 会 長 鎌 倉 宏
功 績 の 概 要	<p>同組織は、平成26年11月最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、自主防災会長を中心に予め作成した「災害時住民支え合いマップ」により、高齢者等の要配慮者等について安否確認を行い、早期に地区住民全体の安否を把握するとともに、要救助者等について消防機関等への情報提供を的確に実施した。</p> <p>また、倒壊家屋の下敷きとなった被災住民については、救助のための空間を確保するため、近隣住民が協力して車用のジャッキやフォークリフトを使用して救助を行うなど、人命救助活動に多大な貢献を行った。</p> <p>さらに、帰宅困難となった被災住民については、避難場所に速やかに避難させるとともに、自力での移動が困難な者については、役場と連携してバスを手配して避難させるなど、一人として死者・行方不明者を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	三日市場区自主防災組織
所 在 地	長野県北安曇郡白馬村
代 表 者	おおた ふみひこ 元会長 太田 史彦
功 績 の 概 要	<p>同組織は、平成26年11月最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、自主防災会長を中心に予め作成した「災害時住民支え合いマップ」により、高齢者等の要配慮者等について安否確認を行い、早期に地区住民全体の安否を把握するとともに、要救助者等について消防機関等への情報提供を的確に実施した。</p> <p>また、帰宅困難となった被災住民については、避難場所に速やかに避難させるとともに、自力での移動が困難な者については、役場と連携してバスを手配して避難させるなど、一人として死者・行方不明者を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	安中地区まちづくり推進協議会
所 在 地	長崎県島原市
代 表 者	おおまち たつろう 代 表 大 町 辰 朗
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、雲仙普賢岳の噴火に伴い発生した大規模な土石流により壊滅的な被害を受けた島原市安中三角地帯において、長期的なまちづくりに取り組むため、平成11年、地域の農漁業者、長寿会、婦人会、青年会などの各種団体による住民主導で設置された協議会であり、被災した「われん川」の復元や「安中梅林」の再生を行うとともに、被災した地域への情報提供や支援活動を目的として相互支援ネットワークを立ち上げ、輪番でフォーラムを開催している。</p> <p>また、「安中防災塾」は、「地域のことは地域で教える仕組み」・「持続可能な教育」を柱とし、災害を体験した住民が中心となって、噴火災害時の被災体験を子どもたちに伝授し、将来的な地域防災リーダー・運営主体となる人材を育成することにより、住民の防災意識の低下を防ぎ、地域防災力の向上に寄与しており、これらの活動を通じて、行政機関や各関係機関とも信頼関係が生まれ、地域内にとどまらない被災地交流や防災・減災活動を可能とするなど、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	岩田校区防災会連絡協議会
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者	あ お き て つ お 会 長 青 木 哲 夫
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、地域住民が集まる運動会の中に担架搬送訓練・バケツリレーを取り入れて年代・地域の枠を超えた住民参加型訓練を継続して行っているほか、校区内において、防災訓練参加者の拡大を図るため、毎月発出する回覧により周知するなど、広く本協議会の取り組みをホームページに掲載して地域住民で情報の共有を図る努力を続け防災訓練参加者が拡充するなど成果を上げている。</p> <p>さらに、外国人が多数居住することからホームページに外国語表記を付すとともに、そうした取り組みを隣接する校区へ普及させようと合同で防災訓練を行うなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	あいち防災リーダー会
所 在 地	愛知県春日井市
代 表 者	あ お き や つ か 会 長 青 木 八 束
功 績 の 概 要	<p>同会は、愛知県内の防災リーダーのネットワーク化を目的に、平成15年の発足以来、地域における実践的な防災リーダーを養成するための「あいち防災リーダー養成塾」を開催し、これまで470名余の修了生を輩出するとともに、地域のイベントでの防災啓発、自主防災組織や学校、企業等で防災知識の普及活動を行い、愛知県の地域防災力の向上に多大な貢献をした。</p> <p>また、愛知県等が主催するイベントでの防災啓発活動や防災セミナー等に講師を派遣して防災行政にも積極的に協力するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	香久山区自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者	いづはら たけし 会 長 出 原 斌
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、毎年地域防災訓練をウォークラリーやイベント、地域の祭り等に合わせて実施するなど、防災に触れる機会を住民に積極的に提供している。</p> <p>また、小学生を対象とした防災マップの作成などを行い、防災思想の普及を行うとともに、日進市をはじめ、防災関係機関と協力・協働して地域合同総合防災訓練を主体的に実施した。</p> <p>さらに、地域住民を対象とした、「香久山区自主防災通信」を定期的に発行し、日頃から防災意識の啓発に努めるとともに、独自にホームページを作成して随時活動報告を掲示、大型複合商業施設との協力による防災展を実施するなど、平時から防災情報の提供に努め、地域住民への防災意識の普及・啓発に尽力し、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	折戸区自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者	おおうち せいじゅん 会 長 大 内 誠 淳
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、設立以来地域の安全・安心を守るため子どもの参加を中心とした地域防災訓練の実施、災害時要援護者の居所掌握など地域住民への防災意識の普及・啓発に努め、地域防災力向上に寄与した。</p> <p>また、平成24年度に愛知県より防災貢献団体として表彰を受け、平成25年度は愛知県の防災人材育成研修事業である「防災・減災カレッジ」の地域防災コースにて自主防災組織の先進事例として講演するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>